

2024年8月11日（日）第二礼拝「契約式」出エジプト 24章 3～8節

イスラエルの民は神様の奇跡によってエジプトから救われた後、荒野で神様と契約を結びました。神様は彼らに十戒を与え、神様を愛すること、隣人を愛することを守り行うように言われました。これは神様とイスラエルの民の契約式でした。

第一番目、血による契約です。当時、中東地域の契約は血による契約でした。契約を結ぶ者たちは生贄を連れて来て、半分に裂き、左右に置きます。その血が流れている生贄の間を、二人の者が歩きます。契約を破棄する場合はこの生贄のように殺されることを理解した上で、二人は契約を結びます。神様と民との契約も同様です。生贄の血の半分を祭壇に注ぎ、残り半分は民に注ぎました。結婚式と似ていて、神様は民を妻として迎え、夫として誠実を尽くすことを誓い、また、妻である民も夫である神様に忠実に従うことを誓いました。しかし、民はこの契約を忘れて偶像崇拜をしました。契約を破棄した民は本来なら殺されますが、神様の憐みのゆえにイエス様が代わりに十字架につけられ、血を流して罪の贖いをしてくださいました。これが新しい契約です(エレミヤ 31:31～34)。アブラハムが深い眠りに落ちた時、半分に裂かれ血を流した生贄の間をたいまつ(聖霊の火)が通りました(創世記 15章)。これは神様からの一方的な新しい契約であり、この契約は赦しから始まります。

第二番目、キリストは呪われた者となりました(ガラテヤ 3:13)。それは私たちを律法の呪いから贖い出してくださるためです。奴隷市場では高値を出した者が奴隷を買うことができました。あるクリスチャンが高値を出して奴隷を買いました。その人は彼を奴隷にせず、むしろ自由を与え、息子にしました。これが贖いです。同様に悪魔の奴隷となって呪いの中で死ぬはずだった私たちをイエス様がご自分の血をもって贖ってくださいました。代わりにイエス様は十字架にかけられ呪われた者となり、神様に捨てられました。これにより私たちは自由を与えられ、神の子とされました。これがアブラハムの祝福であり、新しい契約です。

第三番目、アブラハムの祝福は異邦人に及びます。「アブラハムへの祝福が、キリスト・イエスによって異邦人に及ぶためであり、その結果、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるためなのです。」(ガラテヤ 3:14) イエス様を信じる者は新しい契約に入り、アブラハムの祝福を受けます。血を流した生贄の間をたいまつが通ったように、聖霊様は私たちに血による贖いと契約を教え、私たちが妻として役割を果たせるように助けてくださいます。また、私たちに主の愛を教え、律法を行う力を与えてくださいます。イエス様は十字架によって全ての呪いを処分し、私たちに永遠のいのちを与えてくださいました。「…わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。…」(ヨハネ 11:25～26) サタンは私たち人間を一人でも多く地獄に連れていくことを望んでいます。地獄は永遠の呪いです。この呪いからイエス様は私たちを贖ってくださいましたのです。イエス様に自分の罪を告白し悔い改めた者は、イエス様の血による新しい契約に入り、聖霊のたいまつが私たちを照らし、教え導き、信仰を与えてくださいます。アーメン！